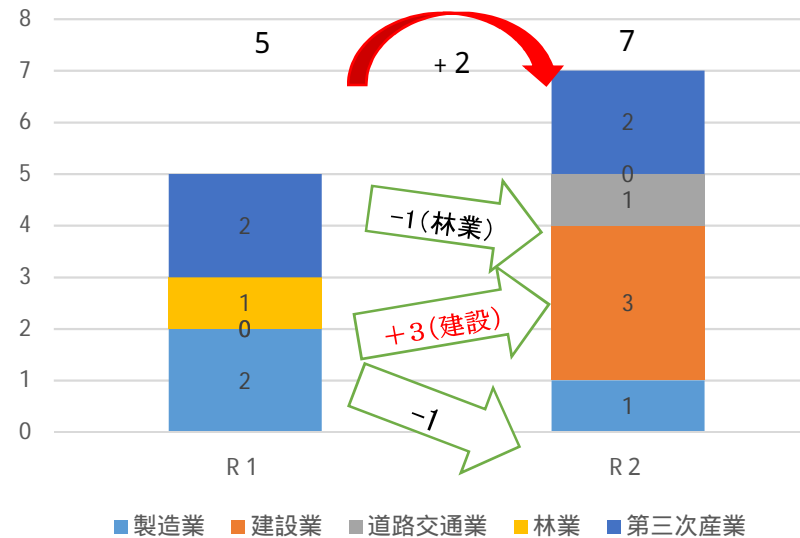


# 令和2年労働災害発生状況について（6月末速報）

## 死亡災害

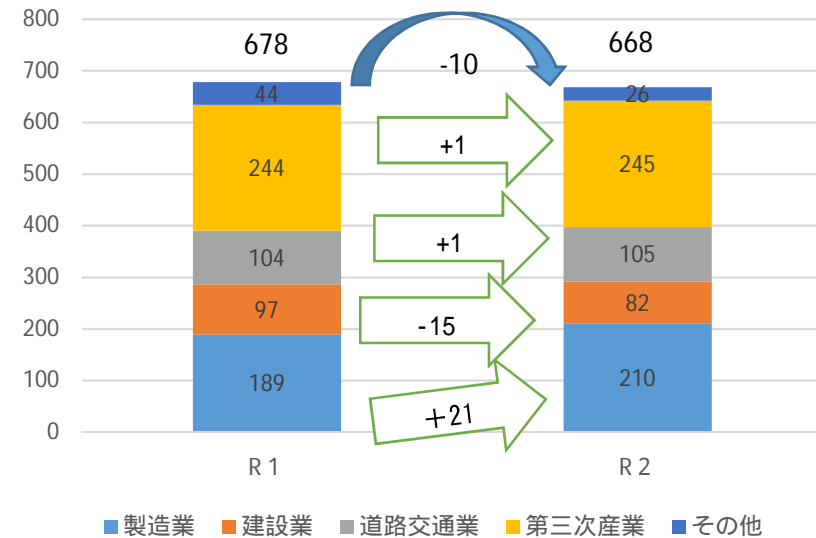
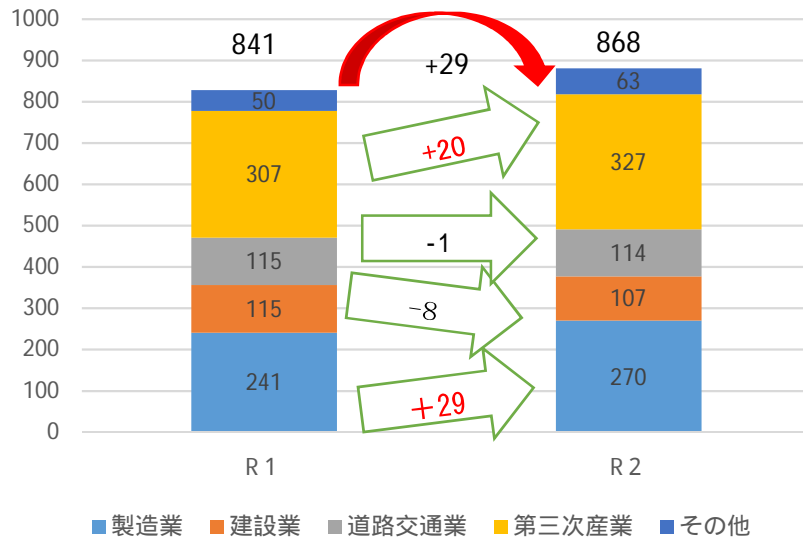


出展：労働者死傷病報告。5月末速報は当該年の1月1日から5月31日までに発生した労働災害で、概ね6月7日までに労働基準監督署に報告があったものを、6月末速報は当該年の1月1日から6月30日までに発生した労働災害で、概ね7月7日までに労働基準監督署に報告があったものを、それぞれ集計したもの。速報値は概ね2か月前までの災害発生状況が反映される。

- 増加の主因としては、建設業の大幅な増加(0人 3人)。
- 建設業における3人のうち、墜落・転落によるものが2人で、足場での作業中に発生。  
労働安全衛生規則(特に第518条、519条、524条、563条、564条、566条、567条)の遵守の徹底。  
要求性能墜落制止用器具の着用の徹底

# 令和2年労働災害発生状況について（6月末速報）

6月末速報 休業4日以上<sup>（参考）</sup>の死傷災害（参考）5月末速報



出展：労働者死傷病報告。5月末速報は当該年の1月1日から5月31日までに発生した労働災害で、概ね6月7日までに労働基準監督署に報告があったものを、6月末速報は当該年の1月1日から6月30日までに発生した労働災害で、概ね7月7日までに労働基準監督署に報告があったものを、それぞれ集計したもの。速報値は概ね2か月前までの災害発生状況が反映される。

- 5月末速報で前年同期より減少していた労働災害が増加に転じた。
- 増加の主因としては、製造業と第三次産業の大幅な増加(それぞれ+12%、+6.5%)。
- 製造業においては、241人のうち、墜落・転落によるものが45人(前年同期比16人増)、転倒(高年齢労働者が多く被災)によるものが52人(同4人増)。  
**手すりをつかんでの昇降、トラックのステップの利用(墜落・転落)、エイジフレンドリーガイドライン周知セミナーの参加や転倒防止用動画教材の視聴(転倒)を！**
- 第三次産業においては、小売業における転倒が前年同期比12人増、社会福祉施設における転倒が同3件増、社会福祉施設の動作の反動・無理な動作が同9人増。  
**エイジフレンドリーガイドラインWebセミナーの参加や転倒・腰痛防止用動画教材の視聴を！**